



豊ヶ丘小 パクパク通信

平成23年9月20日
多摩市立豊ヶ丘小学校
学校長 小林 佳世
栄養教諭 早乙女 理恵
No. 13

9月もあっという間に半ばになり、運動会の練習もいよいよ本格化してきました。想像していた以上の残暑が続き、子どもたちの体力も相当きつくなっています。3食の食事をしっかりととり、出来るだけ早く就寝して、疲れを翌日に残さないよう、ご配慮お願いいたします。

9月の豊ヶ丘小の食育①

4年生 総合的な学習の時間

「おやつを食べたい！どんなおやつ？」

この単元は担任と栄養教諭がT.Tで行っています。夏休みに入る前に、児童のみと親子のおやつアンケートをとりました。

4年生の結果は・・・やはりほとんど毎日おやつを食べていました。その内容は・・・季節柄、アイス類がトップ。続いてせんべい類やスナック類でした。

9月に入ってから1週間、食べたおやつと量と時間を日記につけ、さらに食べたおやつの袋や箱を集め、班で模造紙に分類ごとに貼りつけました。そして原材料をすべて書き出し、砂糖類(赤○)・小麦粉類(黄○)・油脂類(青○)・〇〇剤・〇〇料(緑○)と書かれているものに色分けして丸印をつけました。すると、ほとんどのおやつに砂糖や油脂が使われていたことに気がきました。○が全くつかなかったものは、生茶・牛乳・豆乳・野菜ジュースだけでした。その後知りたいことや疑問に思ったことをどんどん短冊に書きだし、「主原料」「砂糖類」「油脂類」「食品添加物」「作り方や歴史等」に分類しました。その中から自分が一番「追求したいテーマ」を決めました。いよいよどのように調べるか、どんな準備が必要なのか検討を始めます。



多摩市が推進している ESD（持続発展教育）を視点に入れた、17時間に及ぶ「おやつ」の探究・・・どのように発展するか楽しみです。

